

事務事業名	高齢者見守りネットワーク事業	事務事業No.	10604000014	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成24年度当初、桜川市の高齢化率は25.14%で、将来推計において高齢化が進む見込みであった。また、65歳以上の高齢者がいる世帯は7,691世帯で、総世帯数の56.5%を占めていた。これは、全国平均で19.2ポイント、茨城県平均で16.4ポイントと大きく上回っている状況であった。更に、ひとり暮らし高齢者が亡くなっているところを、近所の方等に発見されることもあった。今後、高齢者の孤独死が増えることが心配されることから、防止策を図るため本事業を開始した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
広報やホームページ等で高齢者見守りネットワーク事業を知った民間業者から協力を望む声が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者をさりげなく見守りながら、早期に異変を発見し対応することは、孤独死対策につながり、高齢者福祉の推進に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域や市内外の事業所でネットワークを構成し、高齢者の見守りに取り組むことから、市で行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 高齢者の孤独死を防止する事業であるため、本来成果を見る事業ではないが、協力事業所を増やし、情報交換を密にすることで成果に結びつく余地はある。現在、主要な市内事業所とは協定を締結しており、現時点では向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が安心して地域で生活を送れなくなり、高齢者の孤独死対策が衰退してしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 徘徊高齢者SOSネットワーク事業(桜川市では未実施)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 本事業で築いたネットワークを、徘徊高齢者SOSネットワーク事業(県)にも活かし、高齢者が徘徊などによって行方不明になった場合の早期発見及び保護につなげたい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 市内外の事業所による善意で事業が実施されているため、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の不特定多数の高齢者を、無償でさりげなく見守る事業であるため受益者は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	新規2事業所と締結をし、見守る体制を強化した。高齢者の異変に関する情報提供が計6件あり、素早く安否確認を行うことができた。このネットワークを活かし、高齢者の行方不明者が生じた際に捜索協力を依頼できるネットワークの構築も検討していく。														
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 SOSネットワークの構築にあたって、協力者への行方不明者の情報提供の手段を検討していく必要がある。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		成果	向上		○		維持			×	低下			×
成果	向上		○													
	維持				×											
	低下			×												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>